

# Vega & Vega L

## 取り扱い説明書



この取扱説明書は大切に保管してください。

 **TIBA**  
**TONWERK**

## 目次

<b>1</b>	<b>紹介・前置き</b> .....	<b>3</b>
<b>2</b>	<b>重要なお知らせ</b> .....	<b>3</b>
2.1	用途 .....	3
2.2	樹種と出力.....	3
2.3	燃焼中何が起きているか？.....	4
<b>3</b>	<b>承認書/証明書</b> .....	<b>5</b>
3.1	承認書.....	5
3.2	ストーブの組み立て .....	5
3.3	モデル認識プレート.....	5
<b>4</b>	<b>防火と安全</b> .....	<b>5</b>
4.1	煙突ダンパー .....	6
4.2	煙突に関する安全上のお知らせ .....	6
4.3	不調－使用停止.....	6
4.4	一般的な安全基準.....	6
4.5	離隔距離.....	7
<b>5</b>	<b>使用方法</b> .....	<b>7</b>
5.1	初めてストーブを使用する前に.....	7
5.2	ストーブ周り.....	8
5.3	重要なお知らせ.....	8
5.3.1	着火の難しい時は.....	8
5.3.2	初めてのご使用に関する注意事項 .....	8
5.3.3	煙突の耐熱塗料の定着.....	8
5.3.4	換気扇と吸排気システム.....	9
5.3.5	季節の変わり目の悪状況 .....	9
5.3.6	燃焼室クローザー/リビング換気と気密 .....	9
5.3.7	室内負圧.....	9
<b>6</b>	<b>ストーブの燃焼</b> .....	<b>10</b>
6.1	薪の追加.....	11
<b>7</b>	<b>掃除とお手入れ</b> .....	<b>11</b>
7.1	煙突掃除 .....	12
<b>8</b>	<b>こんな時は</b> .....	<b>14</b>
8.1	アドバイス .....	14
<b>9</b>	<b>保証</b> .....	<b>14</b>
9.1	保証条件 .....	14
9.2	保証除外品.....	15

## 1 ヴェガの紹介

質の高いトーンヴェルク・ストーブをお選びくださり誠にありがとうございます。

このストーブの開発は薪ストーブのフィールドで最新の燃焼テクノロジーの発明のもとに製造されました。

## 2 重要なお知らせ

この取り扱い説明書と設置マニュアルは大切に保管してください。

クリーン燃焼、専門家による設置、及び正しい操作はストーブの機能を満たすために必要な条件です。

このストーブは最低限の安全基準を満たすだけでなく最新の技術開発によって構成されています。

これらの取り扱い説明書をよく理解し、正しい操作、維持管理を行えばストーブはあなたを十分に満足させてくれます。

蓄熱ストーブの間違った使い方は、ストーブの寿命を短くし予期せぬ重大なトラブルを引き起こし大変危険です。必ずこの取り扱い説明書をよく読んでいただき完全に理解してくださいようお願いいたします。

この取り扱い説明書を守らずに起きた誤作動、損害に関しては保証は一切認められません。

### 2.1 用途

ストーブに使用される薪はよく乾燥させ、化学処理されていない薪だけを使用してください。

ストーブの間違った使用や承認しがたい使用は、制御不可能状態になる可能性があり大変危険ですので、絶対にやめてください。

ストーブの燃焼用空気は屋外の空気を直接ストーブに接続できるようにになっています。

それは気密の高い住宅で使用できる条件を満たしています。

### 2.2 樹種と出力

熱出力は一定の条件下（長さ、太さ、含水率）の1kgの薪を燃やしたことによって熱量が決まります。熱量は投入される薪の量に基づき、樹種によって変化します。



ゴミ、湿った薪、炭は  
ストーブで燃やすことは  
できません。



湿った薪を燃やすと  
ストーブにダメージを  
与えたり効率が下がります。

樹種	出力
<b>広葉樹</b>	
ブナ、樺、ハリエンジュ、 ニセアカシア	2100 kWh/rm
カバ	1900 kWh/rm
クワ	1900 kWh/rm
<b>針葉樹</b>	
米松、松	1700 kWh/rm
唐松	1700 kWh/rm
トウヒ、モミ	1500 kWh/rm

Die Werte beziehen sich auf 15% Restfeuchte im Holz!

## 2.3 燃焼中何が起きているか？



燃えている木は、  
環境保護に貢献します。

燃焼とは、炎を形成する物質が急激に酸化する過程です。木が燃焼するとき、空気中の酸素は木の中に炭素と水素を取り込みます。其の過程でエネルギーは熱と光になって放出されます。

理想的な燃焼で生成されるのは二酸化炭素と灰（主成分は鋳物）と水だけです。

薪の燃焼プロセスは大きく3段階に分けられます。

**暖房と乾燥** 第1段階では、薪に含まれる水と他の揮発性物質が蒸発します。

**熱分解** 第2段階では、約150℃の温度から熱分解が始まります。

**実際の燃焼** 第3段階では、第2段階で生成されたガスが空気中の酸素と反応し、二酸化炭素と水を形成します。残留している炭素は燃焼領域の中で時間をかけて完全に燃えます。灰だけは燃焼残留物として残ります。これらの各燃焼段階はたき火などで簡単に確認することが出来ます。



燃焼には、燃焼物、酸素、  
熱の3つの要素が必要です。

### 3 承認書 / 証明書

#### 3.1 承認書

あなたのストーブは下記の規格によって保証されています。  
DIN EN 13240

#### 3.2 モデル認識プレート

トーンヴェルク・ストーブは燃焼室自動クローザー安全装置を標準で備えています。これは操作と安全性において重要です。

ドアから手を離しますと、自動的に締まります。従ってトーンヴェルク・ストーブは複数のストーブが繋がれている煙突に適しています。

#### ▲注意



#### 注意

90°以上開けないでください。ドアのスプリングにダメージを与えます。

#### 3.3 モデル認識プレート

モデル認識プレートはストーブの背面に貼られてあります。

			<b>CE</b> -18	
Typ <b>VEGA + VEGA L</b>	Prod. Nr. <b>T13 - □□□□□ -18</b>			
Leistungserklärung Nr. <b>013-174769</b>	Norm: <b>DIN EN 13240: 2001/A2: 2004/AC:2007</b>			
Nennwärmeleistung: <b>6 kW</b>	Prüfbericht Nr. <b>RRF-ITT 17 4769 NB 1625</b>			
Abgastemperatur: <b>247 °C VEGA, 196 °C VEGA L</b>	Brandsicherheit	erfüllt		
	Brandverhalten	A1 WT		
Feinstaub/poussiere/particles: <b>30 mg/Nm3</b>	CO bei 13% O2: <b>0.10%</b>	Oberflächentemperatur	erfüllt	
		Elektrische Sicherheit	nicht zutreffend	
Energieeffizienz/rendement/efficiency: <b>80% VEGA, 83% VEGA L</b>		Maximaler Betriebsdruck	NPD	
		Mechanische Festigkeit	NPD	
		Freisetzung Gefährlicher Stoffe	NPD	
Brennstoff: <b>Scheitholz</b>	Mehrfachbelegung: <b>Ja</b>	NPD = no performance determined / keine Leistungsbestimmung		
Hersteller: <b>Tiba AG, Hauptstrasse 147, CH-4416 Bubendorf</b>				
<b>Bedienungsanleitung beachten/lire le manuel/read instruction manual!</b>				

### 4 防火と安全

使用者は国や地域の建築法規、そして防火条例を厳守しなければなりません。

#### 4.1 煙突ダンパー

安定したドラフトを維持するために、煙突ダンパーの設置を推奨いたします。

#### 4.2 煙突に関する安全上のお知らせ

12パスカルの煙突ドラフト力が必要です。もし煙突の高さ、直径が要件を満たさない場合は十分なドラフトが得られなくなります。

もしドラフトが高すぎる場合、煙突ダンパーまたはツークレグラー（自動煙突ドラフト調節器）を取り付けるべきです。建築基準法及び消防法は厳守されなければなりません。煙突火災等があった場合、直ちに消防署に連絡してください。

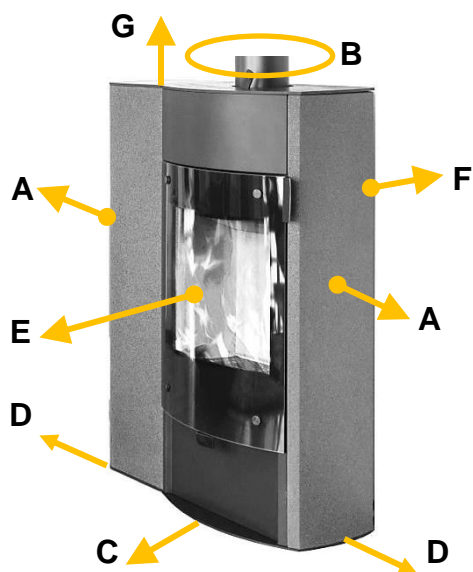
#### 4.3 不調—使用停止

稀なケースとして、予備燃焼に失敗することがあります。その場合取り付け業者に連絡してください。このような状況下ではさらにドラフト力をあげようとすることは避けてください。ストーブの使用をやめ、取り付け業者または青い空に連絡してください。

#### 4.4 一般的な安全基準

- 小さなお子様をストーブの近くで一人にしないでください。
- 小さなお子様には適切な安全教育をしてください。
- ストーブは燃えているとき熱くなり、火傷の危険があります。
- 使用中はストーブに触らないでください。
- ゴミやペンキのついた薪は燃やさないでください。
- 灰を処分する時は完全に冷えてから行ってください。
- ストーブの気密（ガスケット等の摩耗）が悪くなったとき、専門業者に連絡してください。
- 操作手順、燃焼と環境保護について我々のガイドラインを厳守してください。

## 4.5 離隔距離



### 離隔距離A

サイドパネルはすべての可燃物から45cm離してください。

### 離隔距離B

煙突はすべての可燃物から最低20cm離してください。

### 離隔距離C & D

ストーブ前50cm、ストーブ横30cmの範囲を不燃材で炉台を設けてください。

### 離隔距離E

燃烧室ガラスの前は最低135cmすべての可燃物を遠ざけてください。

### 離隔距離F

ストーブ後ろはすべての可燃物から最低20cm離してください。

### 離隔距離G

天井までは60cm以上離してください。

## 5 使用方法

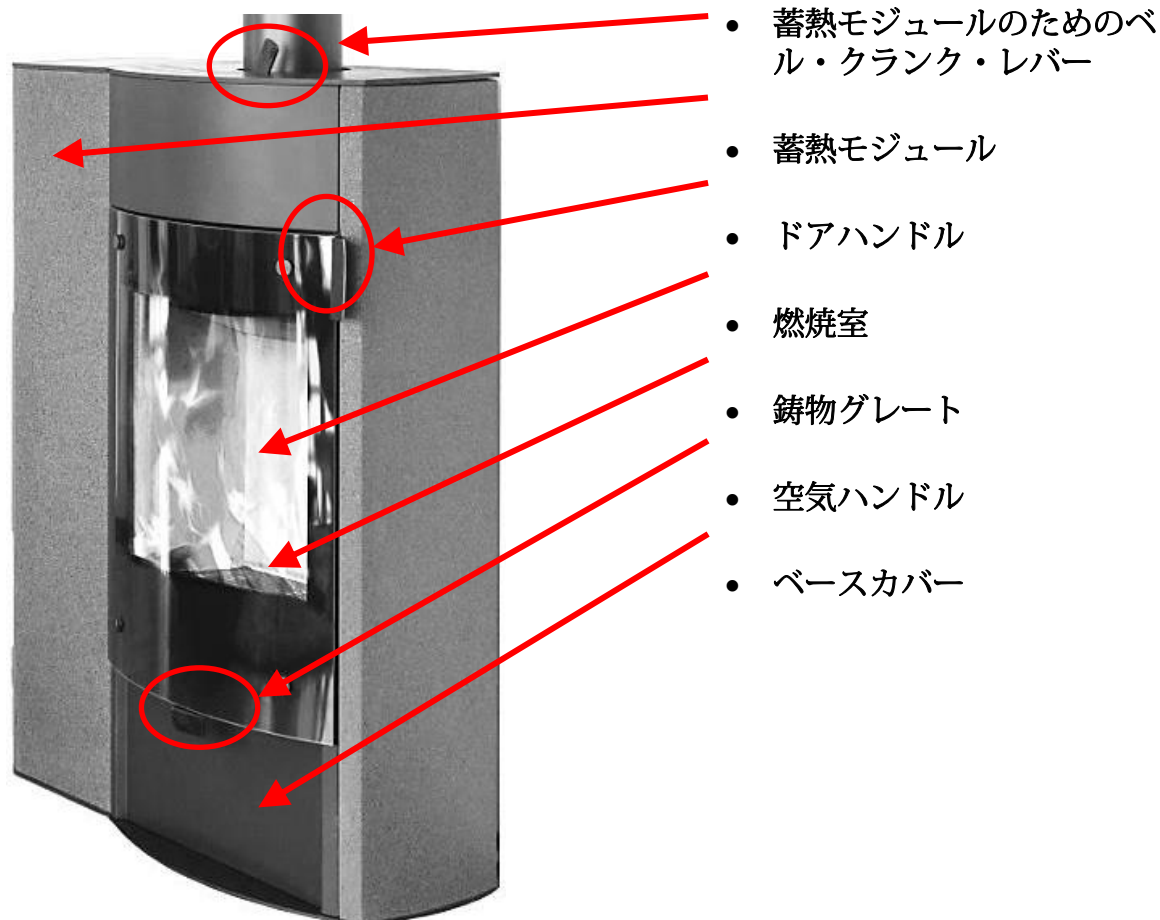
### 5.1 初めてストーブを使用する前に

お客様へ

必ず正規代理店よりトーンヴェルク・ストーブの正しい使用方法をお聞きください。下記の操作手順はトーンヴェルク・ストーブの使用中に不具合が起きた場合の処置を説明します。

操作方法をよく読み、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。もし何か不具合がありましたらp14の8を参照していただくか、トーンヴェルク正規代理店にお問い合わせください。

## 5.2 各部名称



## 5.3 重要なお知らせ

### 5.3.1 着火準備

燃焼に備えて薪を暖かい場所に数日保管しておくとい良いでしょう。

### 5.3.2 着火手順

1. 推奨薪投入量は 4 kg ですが最初の燃焼は約 3 kg の薪を使用し、着火して下さい。追加の薪は入れないでください。
2. ステップ 1 を 8 時間～10 時間後に少なくとも 2～3 回繰り返しください。

### 5.3.3 耐熱塗料の定着

ステップ 5.3.2 の手順に従って行われた燃焼後はさらに薪を追加し、煙突に塗装されている塗料を完全に乾かしてください。耐熱塗料はこの工程を繰り返すことによって定着し、セラミック化して強固になります。



### 5.3.4 換気扇と換気システム

**室内空気に依存する使用:** キッチンの換気扇や室内換気システムはストーブの燃焼に影響を与えます。

換気を行う場合適切な空気が室内に供給されていることを確認してください。

ストーブの排ガスが室内に引き込まれ、健康被害を起こすかもしれません。

外気供給していない場合は、吸排気同時型の換気システムが設置されており、室内の気圧が常に正圧になっていなければなりません。

もし上記の条件が整っていない場合は、外気供給を行って外気を直接ストーブの空気供給口と接続してください。

青い空では外気供給を推奨しており、室内空気に依存する使用は行っておりません。

**室内空気に依存しない使用:** ストーブが使用されている間は、燃焼用空気は室内空気に依存していないことを確認してください。外気供給経路の接続部分の気密はテープまたはシール材でしっかり止めて空気が漏れないようにしてください。

薪の追加時は室内の換気扇を止めて行ってください。

### 5.3.5 季節の変わり目の悪状況

湿度の高い日や霧が発生している天気や外気温が15度、季節の変わり目などでは排煙を誘発させるための予備燃焼をお勧めいたします。

予備燃焼は煙突内の冷たく重い空気と置き換え、最適な排煙のための条件を整えます。

この予備燃焼は煙突の口元で紙などに火を点けることによって、十分な煙突効果を誘導します。

### 5.3.6 燃焼室ドアの閉鎖/コントロール可能なリビング換気/室内空気に依存する使用

使用中は常に燃焼室ドアは閉めた状態で、なおかつドアガスケットが破損していないこと。破損しているドアガスケットは、室内に排ガスが漏れ、健康被害を起こします。



破損しているドアガスケットは、室内に排ガスが漏れ、健康被害を起こします。

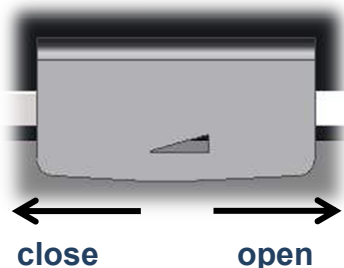
### 5.3.7 ストーブが負圧になっている室内に設置されている時

換気装置の取り付け業者は、ストーブが設置されている部屋が4 Pa未満でないことを保証してください。



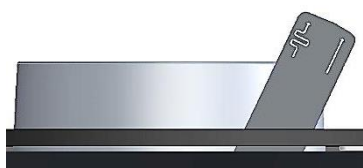
原則として、ストーブが設置されている室内の気圧は、4paより低くあってはならない。

## 6 着火



燃焼室ドアを開けます。空気操作レバーを止まる位置まで右へスライドさせてください。

煙突ダンパーを開けます。空気供給は外気供給口にカバーがついている場合があるので必ず全開にしてください。



蓄熱モジュールが装備されている場合は、ストーブ上部のベル・クランク・レバーを右に倒してください。十分なドラフトになるまで排気は蓄熱体を通らず、直接煙突へ排気されます。



**6kgの薪を投入してください。**

まず3本の薪を燃焼室に寝かせて置き、その上に井桁になるようにさらに3本置いてください。薪の一片が5cm～10cmの割られた薪でなくてはなりません。

さらにその上に2本～3本の割られた薪を置き、その上に細く割った着火用の薪を置いてください。

**着火**

マッチと着火材を使って火をつけてください。



**燃焼室ドアを閉めてください。**

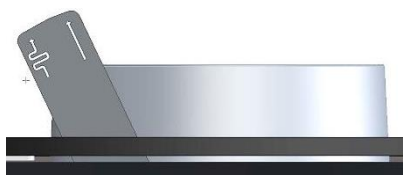
必要に応じて、ストーブが冷たい場合、ドアを約5分程開いたままにする必要があります。

その場合換気扇は切ってください。

大凡20分後ベル・クランク・レバーを左に倒してください。排気が蓄熱室を通過して蓄熱を開始します。

**煙突ダンパーも閉めドラフトを調節してください。**

大凡20分後に煙突ダンパーまたは空気供給レバーを調節できます。この方法で出力と薪の燃焼速度を調整し薪の消費量を軽減できます。空気調整または煙突ダンパーの正確な調整は煙突の設置方法（長さ、直径）、気候、ストーブの温度によってその都度変化します。



## 6.1 薪の追加

薪の追加時は室内に煙が流出しないようにしてください。運転中は空気供給レバーは最も右側の位置にしていなければなりません。

薪の再投入は次の手順で行ってください。

- ステップ1 ストープの近くに薪を用意してください。
- ステップ2 もし薪が1本しかないときはベル・クランク・レバーを右側に倒してください。
- ステップ3 煙突ダンパーを全開にしてください。
- ステップ4 燃烧室ドアをゆっくり開けてください。
- ステップ5 薪の追加。おおよそ2本の薪、約1kgずつを入れてください。（合計2kg）
- ステップ6 燃烧室ドアを閉めてください。
- ステップ7 ベル・クランク・レバーは右に倒れていますか？
- ステップ8 再び煙突ダンパーを調節してください。（必要とされるドラフトに調整する。）



室内空気を使ってストーブを燃烧させている場合は窓を開いていることを確認してください。

## 7 掃除とお手入れ

灰受け皿がいっぱいになったら、一旦耐火性の容器に入れ完全に冷えてから処分してください。（熾火が残っていると火災の危険があります。）

燃烧室のガラスが汚れているときは、濡れた布と灰で綺麗にしてください。

一度で汚れが取れない場合は何度か繰り返し行い、それでも汚れが落ちない場合は、ストーブ専用のクリーナーで拭き取ってください。その場合ガラス印刷を一緒に落としてしまうかもしれないので注意してください。

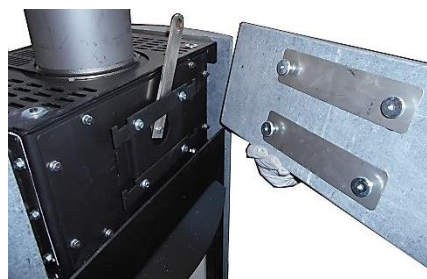
このような汚れがひどい場合は、お掃除の前にもう一度ストーブに薪を入れて高い温度で燃烧することをお勧めいたします。

ラフ・クラディング（ラフ外装パネル）の汚れは掃除機で吸い取ってください。

磨きクラディング（磨き外装パネル）は濡れた布で汚れを拭き取ってください。

付属のクリーニング用の砥石は、酷い汚れの時にだけ使用してください。

## 7.1 煙道のお掃除



### ステップ1:

カバーと前面の石を外してください。



### ステップ2:

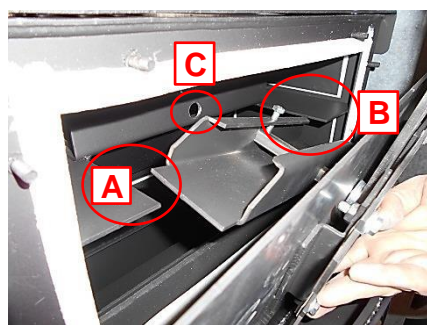
クリーニング・カバーを外します。（8本のネジで止められています。）

ベル・クランク・レバーともう一つの蓋を外してください。



### ステップ3:

熱交換器の掃除。



### ステップ4:

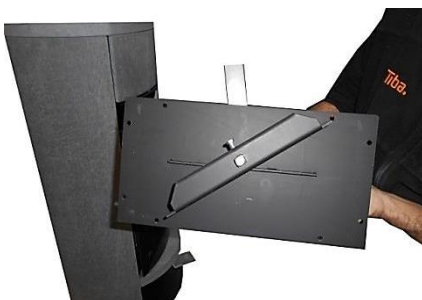
クリーニング・カバーの取り替え。

カバーを取り替えるときは、正確な位置に取り付け正常に機能するかイラストを参照しながら確認してください。

**A:** 上蓋に沿わせる

**B:** 蓋の下に沿わせる。

**C:** ガイドピンを挿入する。



写真： クリーニング・カバーを入れる時。



### ステップ5

燃焼室内部：取り外し、掃除、カバープレートの交換時はサイドパネルから取り外してください。



### 蓄熱モジュールのベル・クランク・レバーの掃除

- クリーニング・カバーの4つのネジを外す。
- 内部のプレートを外す。2本のネジを緩めるだけです。
- 掃除/煙道熱交換器の灰や煤を掃除機で綺麗にする。
- 上から作業を行ってください。

組み立て

再度組み立てる場合は逆の手順で行う。

点検

掃除をし再度組み立てられたら、すべてのパーツが正しく組み立てられたかチェックしてください。またベル・クランク・レバーの動作確認を行ってください。

## 8 こんな時は・・・。

着火できない時、燻っている時、火が消えてしまう時。

- 着火方法が適切でない。
- 薪の乾燥不足。
- 薪が太すぎる
  
- 燃焼室内が酷く煤ける時、ガラスにこびり付いた煤。
- 空気供給の点検。
- 薪の量が少なすぎる。
- 薪が湿っているか太すぎる。

### リビングへの漏煙

- 燃焼室ドアのロック機能をチェックしてください。
- 換気システムが影響を与えているかもしれません。
- 燃焼室のガスケットをチェックしてください。
- 煙突のドラフト不足かもしれません。予備燃焼をお勧めします。
- 十分な空気量が供給されているかチェックしてください。

### 8.1 アドバイス

ヴェガストーブを外気供給して使用している場合、オフシーズンにはガスケットの摩耗を専門家によって調べてもらってください。交換が必要な時は必ず新しいガスケットに交換してください。

燃焼室はバーミキュライトと高品質な耐火レンガで生産されています。すべての耐火レンガは熱による膨張と収縮を繰り返してヒビが発生します。このヒビ割れは自然な現象で、はがれ落ちたり、穴が空かない限り、安全性、効率に悪影響は与えません。

もしご自身で判断がつかない場合は、取り付け業者か青い空までご連絡いただきますようお願いいたします。

## 9 保証

保証期間は5年間です。保証の開始は、トーンヴェルクのスペシャルディーラーによって設置され、試し焚きが行われた時に始まります。ストーブの購入代金が支払われ、30日以内に保証証明書がTIBA AGに申請された場合のみ、保証が有効になります。もし保証手続きがされない場合は、24ヶ月の保証期間になります。

### 9.1 保証条件

- トーンヴェルクのスペシャルディーラーによる設置。
- 取り扱い説明書通りの使い方であること。

- マニュアル通りの取り扱いがされ、シンボルマークの注意事項が守られていること。連続的運転でないこと。
- オーバーヒートしていないこと。
- 専門家によるメンテナンスを年1回定期的に受けていること。
- 改造されていないこと。これは誤作動や永久的に大きなダメージを与えるかもしれませんので、絶対に改造や修理をしないこと。
- 修理は必ず正規品が使われていること。

## 9.2 保証除外項目

- ガasket、鋳物グレート、耐火レンガ、ガラスの消耗パーツ。
- 煙と煤によるダメージ。
- 外装パネルの自然な変色や色落ち。
- 安全性に影響を及ぼさない耐火レンガのヒビ。
- 取り扱い説明書に書かれていることを守らずに起きたダメージ。
- 別の保証契約に基づいて行われた修理による損傷。

我々はTIBAの一般的保証と納入条件に関する事項をここに明確に言及致します。



Hauptstrasse 147, CH-4416 Bubendorf

Telefon: +41 (0) 61 935 17 10

Fax: +41 (0) 61 931 11 61

[info@tiba.ch](mailto:info@tiba.ch)

[www.tiba-tonwerk.ch](http://www.tiba-tonwerk.ch)